



要件

-
- 一般的な要件 (1 ページ)
- 要件 — HP Thin Pro (4 ページ)
- 要件—MacOS (5 ページ)
- 要件 — Ubuntu (6 ページ)
- 要件: Unicon eLux (7 ページ)
- 要件: Windows (9 ページ)
- バージョン サポート戦略 (11 ページ)

一般的な要件

一般的な要件は、すべての VDI 版 Cisco Jabber Softphone プラットフォームに適用されます。



重要 このガイドに記載されているコンポーネント、バージョンおよび最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。

アクセサリ

推奨される音声およびビデオ アクセサリのリストについては、http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.html の「*Unified Communications Endpoint and Client Accessories*」を参照してください。

すべての Jabra デバイスが最新のファームウェアを実行していることを確認します。Jabra Direct を使用してファームウェアを更新できます。

Windows 版 Cisco Jabber

ホストされた仮想デスクトップ（HVD）で実行されている Windows 版 Cisco Jabber のこのリリース。

仮想環境の互換性の詳細については、リリースの Cisco Jabber ドキュメントを参照してください。

Cisco Unified Communications Manager

推奨：Unified CM リリース 11.5 (1) SU3 以降

最小：Unified CM リリース 10.5

Mobile and Remote Access（MRA）向けの Cisco Expressway

推奨：Expressway X12.5

最小：Expressway X8.11.4

MRA を使用した VDI 版 Cisco Jabber Softphone では、認証に OAuth 2.0 のみがサポートされません。詳細については、『[Deploying OAuth with Cisco Collaboration Solution guide](#)』を参照してください。



(注) MRA での JVDI は、collab-edge SRV が HVD から解決できることをサポートしていません。この場合、JVDI へのソフトフォンの登録は失敗します。

Split DNS（ネットワーク内外の異なるドメイン）で MRA での JVDI の導入を使用する場合、HVD で内部ドメインを検出しないでください。もし検出した場合、VDI 版 Cisco Jabber Softphone 登録も失敗します。クライアントが内部ドメインを検出しないようにする場合、HVD に Jabber をインストールしている間は UPN を無効にします。

接続ブローカー: ホスト仮想デスクトップにインストール

- Citrix XenApp および XenDesktop 6.x、7.x（CR — 7.18 まで、LTSR — 7.15 CU7 まで）
- Citrix Virtual Apps and Desktops 7（CR — 最大 2212、LTSR 1912 — 最大 CU6、LTSR 2203 — 最大 CU2）
- VMware Horizon バージョン 6.x ~ 8.x

接続ブローカーは、ホスト仮想デスクトップへの接続を作成するソフトウェアです。接続ブローカーは、次のような多数のタスクを実行します。

- ユーザ名を検証し、ユーザの接続を提供します。
- ユーザが特定の仮想デスクトップに接続できるようにします。

オペレーティングシステム: ホスト仮想デスクトップにインストール

- Microsoft Windows 8.1 (32 ビット)
- Microsoft Windows 8.1 64 (64 ビット)
- Microsoft Windows 10 (32 ビット)
- Microsoft Windows 10 (64 ビット)
- Microsoft Windows 11 64 ビット (Jabber VDI 14.0.3 以降)

サーバオペレーティングシステム: ホスト仮想デスクトップにインストール

- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2016
- Microsoft Windows Server 2019
- Microsoft Windows Server 2022

ポート要件

VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、Cisco Jabber と同じポートと、次の追加のポート範囲が必要です。

表 1: ポートの使用

ポート範囲	説明
16384-32767	<p>RTP の UDP インバウンドおよびアウトバウンド トラフィック (音声およびビデオストリーム)</p> <p>このポート範囲を減らすように Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ を設定できます。CSF デバイスに関連付けられている SIP プロファイルの 開始/停止メディアポート の設定を変更します。</p>

サポートされるコーデック

サポートされるコーデック

オーディオ コーデック

- G.722

- G.722.1 (24 および 32k)

G.722.1 は Ciscoユニファイド コミュニケーション マネージャ 8.6.1 以降でサポートされません。

- G.711 A-law
- G.711 u-law
- G.729a
- Opus

Opus は、Ciscoユニファイド コミュニケーション マネージャ 11.0 以降でサポートされています。

ビデオ コーデック:H.264/AVC

要件 — HP Thin Pro

Citrix Workspace app または **VMware** ホライズン クライアント: シンクライアントにインストールされています。

HP Thin Pro イメージには、必要な Citrix と VMware のバージョンが含まれています。

Citrix Workspace app または VMware ホライズン クライアントは、対応する接続ブローカーのユーザ インターフェイスを提供します。

公開されたアプリケーションモードとスクリーンに合わせるオプションはサポートされていません。

HP Thin Pro シンクライアント: ハードウェア

HP Thin Pro 6.2 でテストされた次のクライアント ハードウェアを推奨します。

- HP t520
- HP t530
- HP t620
- HP t630
- HP t730
- HP mt21

次のクライアント ハードウェアを推奨します。これは、HP Thin Pro 7.1 SP 3.3 でテストされています。

- HP t430
- HP t520

- HP t530
- HP t630
- HP t730
- HP mt21

HP ThinPro プラットフォームイメージ

32-bit: HP ThinPro 6.2

64-bit: HP ThinPro 7.1 SP 3.3 および 7.x バージョン

HP ThinPro 8.0



重要 このガイドに記載されているコンポーネント、バージョンおよび最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。

要件—MacOS

サポートされているオペレーティング システム

VDI 版 Cisco Jabber Softphone 14.0 は、次の MacOS バージョンでサポートされています。

- Mojave (10.14)
- Catalina (10.15)
- Big Sur (11)
- Monterey (12) : 14.0.3 以降
- Ventura (13) —14.1.3 現在

ハードウェア要件

要件 :	Mac 版 Cisco Jabber
搭載されている RAM	2 GB RAM
物理メモリの空き容量	1 GB
ディスクの空き容量	300 MB

要件：	Mac 版 Cisco Jabber
CPU の速度およびタイプ	次のいずれの Apple ハードウェアの Intel Core 2 Duo もしくはそれ以降のプロセッサ <ul style="list-style-type: none"> • iMac Pro • MacBook Pro • MacBook • MacBook Air • iMac • Mac Mini <p>VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、Apple M1 プロセッサもサポートしています。</p>
I/O ポート	USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)

Citrix および VMware の要件

このリリースの Mac OS 用 VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、Citrix および VMware VDI 環境で動作します。Cisco JVDI Client をインストールする前に、Citrix Receiver クライアントではなく、最新の Citrix Workspace クライアントまたは VMware Horizon クライアントをインストールする必要があります。

- Citrix Receiver 13.0 以降
- Citrix Workspace app 1808 以降
- VMware Horizon View Client バージョン 5.5、8.0、または 8.1

Citrix Workspace app または VMware ホライズン クライアントは、対応する接続ブローカーのユーザ インターフェイスを提供します。

公開されたアプリケーションモードとスクリーンに合わせるオプションはサポートされていません。

要件 — Ubuntu



重要 このガイドに記載されているコンポーネント、バージョンおよび最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。

Ubuntu デスクトップイメージ

- Ubuntu 14.04 32b LTS (i386)
- Ubuntu 16.04 64b-alpm LTS (AMD64)
- Ubuntu 18.04 64b-alpm LTS (AMD64)
- Ubuntu 20.04 64b-alpm LTS (AMD64)



(注) サポートされているバージョンには、Ubuntu Minimal は含まれていません。

Ubuntu シンクライアント: ハードウェア

シンクライアントの最小ハードウェア要件は次のとおりです。

- インストール済み RAM 2 GB
- 物理メモリの空き容量 1 GB
- 空きディスク容量 256 MB
- CPU: AMD G-T56N 1.65 Ghz、または Intel Core2Duo T7500 2.2 GHz
- USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)

Citrix Workspace app または **VMware** ホライズンクライアント: シンクライアントにインストールされています。

- Citrix Receiver 13.0 以降
- Citrix Workspace app 1808 以降
- VMware Horizon View Client バージョン 4.x、5.x、および 8.x

Citrix Workspace app または VMware ホライズンクライアントは、対応する接続ブローカーのユーザインターフェイスを提供します。

公開されたアプリケーションモードとスクリーンに合わせるオプションはサポートされていません。

要件: Unicon eLux



重要 このガイドに記載されているコンポーネント、バージョンおよび最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。

Unicon eLux プラットフォーム イメージ

- 64 ビット : Unicon eLux 6.5
- 64 ビット : Unicon eLux 6.8
- 64 ビット : Unicon eLux 6.9
- 64 ビット : Unicon eLux RP6 LTSR 2104 Cu3 (リリース 14.1.3 現在)

eLux パッケージは、Unicon eLux から使用できます。ダウンロードの検索については、eLux サポートにお問い合わせください。

Unicon eLux シンクライアント: ハードウェア

シンクライアントの最小ハードウェア要件は次のとおりです。

- 1.6 GHz デュアルコア プロセッサ
- 2 GB RAM

eLux RP 5.7.0 でテストされた次のクライアント ハードウェアを推奨します。

- HP T620 デュアルコア/クアドコア
- HP T630 デュアルコア/クアドコア
- HP T730
- Cisco VXC 6215
- Dell Wyse Z50D

Citrix Workspace App または **VMware** ホライズンクライアント: シンクライアントにインストールされています。

Unicon eLux には、必要な Citrix と VMware のバージョンが含まれています。

Citrix Workspace app または VMware ホライズンクライアントは、対応する接続ブローカーのユーザインターフェイスを提供します。

公開されたアプリケーションモードとスクリーンに合わせるオプションはサポートされていません。

Cisco Anyconnect (任意)

vpnsystem v1.0-1

要件: Windows



重要 このガイドに記載されているコンポーネント、バージョンおよび最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。

Microsoft Windows シンクライアント: ハードウェア

シンクライアントの最小システム要件は次のとおりです。

- インストール済み RAM 2 GB
- 物理メモリの空き容量 1 GB
- 空きディスク容量 256 MB
- CPU モバイル AMD Sempron プロセッサ 3600 +、2 GHz Intel Core 2 CPU、または T7400 (2.16 GHz)
- DirectX 11 互換 GPU
- USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)

Microsoft Windows: シンクライアントにインストールされています。

- Microsoft Windows 8.1 (32 ビット)
- Microsoft Windows 8.1 (64 ビット)
- Microsoft Windows 10 (32 ビット)
- Microsoft Windows 10 (64 ビット)
- Microsoft Windows 11 (64 ビット)



(注) VDI 版 Cisco Jabber Softphone Windows は、Microsoft .NET Framework または Java モジュールを必要としません。

Windows Embedded Standard シンクライアント: ハードウェア

シンクライアントの最小システム要件は次のとおりです。

- インストール済み RAM 2 GB
- 物理メモリの空き容量 1 GB

- 空きディスク容量 256 MB
- CPUのパフォーマンスは、ビデオの最大解像度に影響します。Windows Embedded Standard シンクライアントでは、予想される解像度はCPUによって異なります。
 - クアッドコア AMD GX-420CA SOC 2 GHz または類似の最大 720p
 - デュアルコア AMD G-T56N 1.65 GHz または類似の240p まで
 - Eden X2 U4200 1 GHz または同様の CPU を介したデュアル コアによる音声のみのサポート



(注) これらのハードウェア仕様は、予想される解像度のガイドラインにすぎません。その他の要因は、ビデオの解像度に影響を与える可能性があります。

- DirectX 11 互換 GPU
- USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)

Windows Embedded Standard: シンクライアントにインストールされています。

- Windows Embedded Standard 7 (64 ビット)
64-bit Systems (KB4019990) 用の Windows Embedded Standard 8 の更新が必要
- Windows 10 IoT Enterprise

Citrix Workspace App または **VMware** ホライズンクライアント: シンクライアントにインストールされています。

- Windows 4.4 以降の Citrix Receiver (ICA)
- Windows 1808 以降の Citrix Workspace アプリ (ICA)



重要 VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、Microsoft ストアからダウンロードされた Citrix Workspace アプリをサポートしていません。

- Windows 4.1.0 以降の VMware Horizon クライアント
(バージョン 4.3 および 4.4 はサポートされていません)。

Citrix Workspace app または VMware ホライズンクライアントは、対応する接続ブローカーのユーザインターフェイスを提供します。



重要 Cisco JVDI クライアントをインストールする前に、Citrix の受信側または VMware ホライズン クライアントをシンクライアントにインストールします。

Citrix 環境から VMware 環境（またはその逆）に変更する場合は、Cisco JVDI クライアントを再インストールします。

VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、VMWare および Citrix VDI 環境の両方で、Windows および Linux シンクライアント用の全画面表示およびウィンドウ表示をサポートしています。

バージョンサポート戦略

- Windows 版 Cisco Jabber および Cisco JVDI Agent の主要バージョン (N.A) は常に一致している必要があります。ただし、JVDI クライアントのバージョンは同じであるか、または最大 2 つのリリース (N-1 のサポート) にすることができます。



(注) N.A-c は、メジャーリリースの範囲を示します。x-z は、さまざまなメンテナンスリリースの数を示します。これらの番号は、例としてのみ使用されます。

たとえば、リリースの範囲内で次のバージョンの組み合わせがサポートされています。

- Windows 版 Cisco Jabber リリース N.A(x)、Cisco JVDI Agent リリース N.A(y)、および Cisco JVDI Client リリース N.A(z)
- Windows 版 Cisco Jabber リリース N.A(x)、Cisco JVDI Agent リリース N.A(y)、および Cisco JVDI Client リリース N.B(z)
- Windows 版 Cisco Jabber リリース N.A(x)、Cisco JVDI Agent リリース N.A(y)、および Cisco JVDI Client リリース N.C(z)



(注) 上記の例は、単一のメジャーリリースでサポートされる範囲をカバーしています。新しいリリース番号 (14.0 など) で始まるメジャーリリースの場合、JVDI クライアントは以前の 2 つのリリース (12.9 および 12.8 など) でもサポートされます。

リリースの範囲内で次のバージョンの組み合わせはサポートされていません。

- Windows 版 Cisco Jabber リリース N.A(x)、Cisco JVDI Agent リリース N.A(y)、および Cisco JVDI Client リリース N.D(z)
- Windows 版 Cisco Jabber リリース N.A(x)、Cisco JVDI Agent リリース N.B(y)、および Cisco JVDI Client リリース N.C(z)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。